



海事資料 FAX 短信

(財)日本海事広報協会

・事業第二部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail jo-ho@kaijipr.or.jp

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が最近発行した機関誌や海事関係資料の主な項目、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

海のイベント情報等

・「親子で体験！日本丸の帆をはろう！」開催！

主催：帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体

帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体は、2011年4月17日、帆船日本丸の大きな1枚の帆を広げたり、たたんだりする作業を体験できるイベントを開催します。(帆を広げたりたたんだりするのは、普段は訓練した人だけが行います。)

めったにないこの機会！大きな帆を間近に見てみよう！

【日時】：2011年4月17日（日）、5月8日（日）

各日 ①10：00～10：30頃 ②16：30～17：00頃

【対象】：小学生・中学生とその保護者（小・中学生だけの参加もできます）

【募集人員】：各回60名

【応募方法】：当日整理券をお配りします。①は午前9時30分より横浜みなと博物館側帆船日本丸チケット売場でお配りします。②は午後3時30分より横浜みなと博物館内総合案内でお配りします。各回ともに定員になり次第締切となります。

【参加費】：入館料(小・中学生300円、高校生以上600円、65歳以上300円)のみで参加できます。

※当日、帆船日本丸と横浜みなと博物館の見学ができます（自由見学）

【服装など】：動きやすい服装でご参加ください。靴は運動靴でお願いします。ヒール、サンダル、ローラーシューズはご遠慮下さい。

※ご注意：安全管理上、天候により実施できない場合がありますので予めご了承ください。

【問合せ先】：〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-1-1

帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体

TEL：045-221-0280

機 関 誌 ・ 広 報 誌 等

<p>「なつしま」第84号 海底を走行可能な無人探査機～ROVによる海底ボーリング活動への第一歩～ 海洋研究開発機構 046-867-9070</p>	<p>「海上保安新聞」3月24日号 海保 救助、物資補給に全力 東日本大震災 海上保安協会 03-3297-7580</p>
<p>「海っ子」第588号 船の科学館で特別展示会開催 ～我ら海の子展～ 日本海洋少年団連盟 03-3553-1818</p>	<p>「PORT OF NAGOYA」Vol.173 北中米の諸港をたずねて～大型客船と観光交流にみる、経済成長の行方～ 名古屋港利用促進協議会 052-654-7837</p>
<p>「OSAKA*文化力」No.112 〈特別リポート〉成長する東アジアと日本の文化戦略 関西・大阪文化力会議2011 大阪21世紀協会 06-6942-2001</p>	<p>「YUSEN」4月号 意外に知らない船のはなし 小さい体の頑張り屋 ケミカルタンカー 日本郵船 03-3284-5189</p>

日本海事広報協会の
旬刊紙「海上の友」

4月11日号の主な記事

- ◆子どもたちの笑顔もどる「銀河丸」「海王丸」
- ◆被災者に日本財団が緊急支援（日本財団） できることを迅速に

◆特定の船員教育機関卒業者を承認（成長戦略船員資格検討会）

◆ジュニア・マリン賞決まる（日本海事広報協会） 他

「海上の友」購読料
 年間10,323円
 1ヶ月860円（税・送料込）

日本海事広報協会の
隔月刊誌「LA MER」

3月／4月号の主な記事

- ◆〈特集〉小笠原諸島
 - ・「おがさわら丸」「ははじま丸」で憧れの小笠原へ
 - ・小笠原と初めて出会うあなたへ
 - ・小笠原諸島発見史（日本船編）
 - ・江戸時代の探検隊がみた小笠原の鳥
 - ・日本領へー「咸臨丸」小笠原島への航跡 他
- ◆新女王クイーン・エリザベス就航
- ◆新連載 築地時空散歩① 福地亨子

◆連載

- ・シリーズ外航船〈終〉日本郵船「NYK TERRA」
- ・海族の系譜 山田吉彦
- ・キャプテン佐久間のおもしろ海話Ⅱ 佐久間誉
- ・越中島黒川研究室 黒川久幸
- ・わが国海運の戦後60年の歩み 山岸 寛
- ・名船発掘「回天」「ド・グラス」 他

「LA MER」 定価700円（税込）
 ・ご購入申込は、全国有名書店
 又は弊協会まで。
 ・定期購読も承ります。